

平成29年度 第 7 回教育委員会定例会

議決事項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案なし			

平成29年度 第7回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成29年10月10日（火）</p> <p>午後1時58分</p> <p>↓</p> <p>午後3時25分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第7回教育委員会定例会を開会した。

2 平成29年度第6回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

議案なし

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	議案なし
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員並びに教育長及び各課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「松ヶ崎、境小学校運動会について」</p> <p>9月24日松ヶ崎、境小学校運動会に参加した。</p> <p>まず、松ヶ崎小は8:35開会であった。運動場が国道を隔てて海辺に特設されているので、何も遮るものがなくて眼前に桜島からはるか東方霧島連山まで望めるという素晴らしいロケーションである。会場は、万国旗、大漁旗が飾られて、また、綺麗に整備されたグラウンドと、地域の皆さんの心意気があふれていた。</p> <p>子供達は、赤組6人、白組5人の計11人（男子8、女子3）と黄組（校区全員）というかたちで、児童数は少ないけれど一味違う熱意と各競技の面白さを感じた。地域の方々が学校を大事にする、子供達を大切にしっかり育てるといった強い気持ちを汲み取ることができた。ありがたいことだと思った。</p> <p>10:30交代ということで、境小の方へ移動した。この頃には、朝からの小雨がちよっと強くなってきた。境小は当初から雨天を予想して、体育館開催ということだった。地域のほとんどの人々が集まっているということで、体育館はもう足の踏み場もない状況だった。大変な熱狂というか喧噪の中での競技だった。その中でも着々とプログラムが進行しているのがわかった。初めての体育館開催ということで、レクリエーション的な感覚もあったが、やればできるものだと感心した。</p> <p>最後に両校ともに感謝の声があったが、それは、保護者や地域の方々の支援協力は勿論のことだが、特に卒業生である中高生の参加協力について、機動力があり、気配りも行き届いていて、また子供達の士気も高まり、大変ありがたいことであった。</p> <p>2. 「瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートについて」</p> <p>今年もまた瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートでさわやかな感動の時間を過ごすことができた。毎回思うことだが、音楽というものは、人の心の奥に眠っている情感の琴線を大きくふるわせてくれるものだと思う。席に座っていながら身体を中心から湧き上がってくるような感動と喜びを覚えた。ちょうど今から100年くらい前になるが、西洋音楽のファンであった夏目漱石が東京上野の音楽学校、今の東京芸大で開催された演奏会に足を運んだ時の感想を、「ハイカラの演奏会」であったとハイカラという表現を使</p>

って日記に書いている。時代感覚は違うかもしれないが現在の私達にとっても、まさに日常を離れた別世界の幸福な時間ということで私にとってもハイカラな世界そのものであった。改めてふるさとの先人藤吉翁の存在に感謝する。そしてまた、私達は、この貴重な「藤吉翁ふるさとコンサート」をこれからも大事にしていかなければならないと強く思った。

田原委員

1. 「水之上小・公民館の合同運動会について」

9月24日開会式後降り始めた雨がほとんどやまず、地域の採点種目でない競技を省いて、午前中は、11時30分には終了し昼食に入り、小雨は降り続いていたが、午後を12時30分に開始し、同じように地域種目を大幅に減らして、14時30分には競技を終えて、15時前に閉会式まで終わった。後片付けができず、テントは足を折ったまま、運動場に放置し、9月30日(土)に片付けた。また、当日は、グラウンド整備で中学生が砂を運んだり一生懸命手伝ってくれた。ありがたいことだ。

その中で今年良かったのは、地域の男女20名(綱引きの優勝チーム)と小学生全員と綱引きをしたところ、小学生が勝って会場が盛り上がった。子供が喜ぶような競技はいい。来年は、水小卒業生50歳と水小5、6年生とリレーをしようという話も出ている。せっかくの合同運動会なので、小学校と地域が一緒になってやる競技があつていいと思った。

また、今年はプログラムでは競技終了が15時30分の予定であったが、来年はせめて15時には全種目が終わるように、小学校も地域も競技を減らそうといった話も出ている。

2. 「最近の報道について」

神奈川県で給食の業者委託で、異物混入や温食が冷たくておいしくない等の理由から残食が多いなどの問題が出ていた。異物混入も髪の毛やビニールなど数十回の数に及んでいた。給食センターであれば大変な問題で、給食停止にして調べるのではないかと。それに比べ業者委託はかなり杜撰なのではないかと思った。いずれ、垂水市も、この事例は生かしていないといけないのではないかと。

中谷委員

1. 「新城、柘原小学校の合同運動会について」

9月24日新城小、柘原小それぞれの地域合同運動会に参加した。前にも話したとおり、学校訪問は保護者と会って話ができる機会なので連絡を取り、新城小で一保護者に会った。現状のお話を聞くなどして、「たくさんの愛情を持って子供さんと過ごしてください。」とお伝えした。

また、柘原小だが、降り止まない雨を皆さんが小雨と受け止めてくださり、4、5個プログラムは省略したものの最後までやり遂げた。児童もひとつひとつ真剣に取り組み、元気よく楽しそうだった。地域の皆さんも元気な顔になってのお帰りだった。

2. 「垂水中央中について」

9月12日と本日10月10日は中央中のバスに乗り込み、生徒の様子を見せてもらった。9月19日は中学校正門でのあいさつ運動に加わった。元気な声で挨拶をしている生徒だけでなく、学校に行けなくて家にいる生徒もど

うか自分の事を大事にして友達と笑いあって肩組み合って学校に居られたらいいなと念じることだった。

3. 「里親制度の勉強会について」

9月28日里親制度の勉強会があった。市民は2、3人、後は市役所の職員だった。里親は簡単な事ではないが、子供達を普通の家庭の中で、ただ普通に生活させてあげる事が叶う日を思っているが、現実には難しくて何から始めたらいいのだろうか。

4. 「幼稚園、保育園訪問について」

10月4日市内幼稚園、保育園を7園訪問させていただいた。民生委員の中の子供の係の主任児童委員の3人だ。どの園もウェルカムで、お互い話ができ、成果があったと思う。大事な事を正確に保護者にお伝えしたいがなかなか言いにくい事を伝える時に、私共が間に入る仕事をくださるとの約束ができ、実行ができそうだ。待ちの姿勢ではなく、出向いていけば、道が大きく開いていく実感があった。次につなげていく。

葛迫委員

1. 「「藤島武二展」オープニングセレモニー（鹿児島市立美術館）について」

9月29日（金）鹿児島市立美術館では特別企画展「生誕150年記念 藤島武二展」が幕を開け、オープニングセレモニーには、藤島武二の家族の方も参加されていた。

今回の展覧会では、初期から留学時代、転換期、晩年といった時代別に風景画や人物画の変容を分かりやすく展示、日本画や油彩画の師匠達の作品も併せての展示となって、藤島芸術の多面性を観た感じがした。

また、この展覧会の「生誕150年記念」というサブタイトルは、日本が初めてパリ万国博覧会に参加し、薩摩藩も独自に参加した慶応3年に生まれたことになるということ。この時代薩摩藩出身の若者達が、明治7年に生まれた本市出身の和田英作にしてもそうだが、日本の洋画美術の世界をも席卷していた。今後150年という記念の展覧会が数多く開催されると思う。明治維新150年記念事業やNHKの大河ドラマ「せごどん」もそうだ。これからの展覧会を注目してみようと思っている。

教育長

1. 「幼児期の外遊び体験について」

昨日の新聞で、スポーツ庁が「2016年度体力・運動能力調査」の結果を公表したと掲載されていた。興味深かったのは、幼児期の外遊び体験だ。これがその後の運動習慣の形成、体力向上を決定する。私はなるほどと思った。そして、このことは読書にも言える。つまり、幼児期、小中高、学びの時期に、「本て、こんなに楽しいんだ。面白いんだ。役に立つんだ。」という体験を持っていれば、大人になったらまた必ず帰ってくる時期がある。必要に迫られたり、時間がある時に、余暇を利用して、読んで楽しい時間を過ごしたりする。やはり、本屋に行って、本を取る人を見かけた時に、私はこの人はどこかでかそういう楽しい経験をしてきたんだろうなという思いで後ろ姿を見ている。そうでないとなかなか自ら本屋に行って本を買うという行為をできないはずだ。それと一緒になのかなと思う事だった。

それと是非、幼児期だったり、小学校期に、そういう楽しい外遊びを十分垂水の子供達に積ませたいと思う事だった。一方、大人にとっては、90%以上が運動はストレスの解消につながる。その結果として、運動は生活の充実の実感につながるという記事があったが、まさにそのとおりだ。是非、垂水の子供達にも生涯にかけての体力作り、スポーツに親しむ、そういう意味でまた「たるスポ」もあるということを知ることができたと思う事であった。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

9月12日から10月10日までの主な行事等について報告。
併せて、11月10日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会